

消火器の使い方……初期消火はすばやく

①火事を発見したら

大きな声で周囲の人に火事が起きていることを知らせます。

「火事だ!」「119番に通報してください!」「消火器(水)はどこにありますか?」……などなど。

②消火器の入手



地域の消火器は、このような状態で置かれています(左=小型/右=大型)
ドアを開けると、誰でも持ち出せます。大型消火器は管理者が解錠します

消火器を火災現場まで運びます。
現場の7~8メートル手前が目安です。

③安全ピンの解除



消火器の安全ピン(黄色い取っ手がついている部品)を上強く引っ張り、引き抜きます。

このとき、決してレバーに触れないでください。誤ってレバーを握ると、その場で消火剤が出てしまいます。

④消火開始!



ホース先端のノズルを外し、ノズルを火元に向けます。

燃えているものから3~5メートルの距離まで近づき、レバーを強く握ると消火剤が噴射されます。

消火剤が噴射される反動でホースが振られるので、ノズルはしっかり保持してください。

消火剤を噴射するねらいどころは、火の根元です。炎や煙にかけても効果はありません。

手前からほうきで掃くように、消火剤を噴射します。

消火剤の噴射時間は、小型のもので15秒程度、大型のもので30~70秒程度です。

「消火剤はすぐなくなる」と思って使用してください。

★消火器が重くて持てない場合は、消火器を床に置いたままレバーを操作してください。

★安全を確保しながら消火するため、屋外では風上から放射します。室内の場合は出入り口を背にして逃げ道を確保しながら、消火活動を行ってください。

★天井まで火が届いている、あるいは天井が燃えだしていたら、消火器による初期消火は不可能と思ってください。安全なルートを確認し、すみやかに避難してください。